



長光寺薬師堂跡



薬師如来像

この周辺を長光寺屋敷と呼んでいる。長光寺橋という地名も、その当時、橋があつて渡つていたものであるう。

前九年の役に、八幡太郎義家公が来たときお守として肌身に着けていた薬師如来像を、戦勝祈願、武運長久祈願のために、長光寺に納めていったという。

後に長光寺が火災になつたとき、佐藤現順という医者者が、御本尊を預り守つたという。この人は、後に薬師堂を建てて、厚く信仰したといわれる。病氣手癒を祈願する人たちが、村中はもちろん、他村からも沢山来たという。祭日は四月七日で、佐藤家では、参拝者に餅をふるまつた。

この森は榎、ふじ、百日紅の大木が生え繁つて、うっそうとしていたが、他家に移つてからは、荒れはてて、今では小さな石の祠が残っているだけである。

御本尊は由あつて、現在、松川一二氏宅に安置され、信仰されている。長光寺という寺は、長楽寺の前身であるともいう。

(話者 佐藤春雄)